

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

令和7年（2025年）10月23日

熊本市教育委員会事務局学校教育部指導課

I 調査の概要

(1) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

(2) 調査実施日：令和7年（2025年）4月17日（木）

中学校理科の実施日：令和7年4月14日（水）～4月17日（木）のうち1日

(3) 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

(4) 調査内容

①教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

中学校理科は、文部科学省CBTシステム（MEXBET）によるオンライン方式（CBT:Computer Based Testing）で実施

②質問調査

児童生徒に関する調査
学校に関する調査

2 調査の特徴

○中学校理科は、CBTでの実施

○「中学校理科」個人票は、5段階のIRTバンドで表示（細かな差異にとらわれすぎることなく、個別の児童生徒の課題把握と指導改善に生かす趣旨）

○児童生徒の学びへの還元を最優先に、学校への結果返却の時期を前倒し
（R6 7/26 ⇒ R7 7/14）

○結果公表を3段階に

結果公表①7/14 正答率・IRTバンド分布などの全国平均

結果公表②7/31 全国データに基づく分析結果

結果公表③9/30 都道府県・指定都市別データに基づく分析結果

3 熊本市の調査結果

(1) 教科別の正答率(R5～R7)

本市の教科に関する調査結果は、小学校の国語・算数・理科、中学校の数学については全国平均を下回っており、中学校の国語・理科については全国平均とほぼ同じ状況にあります。

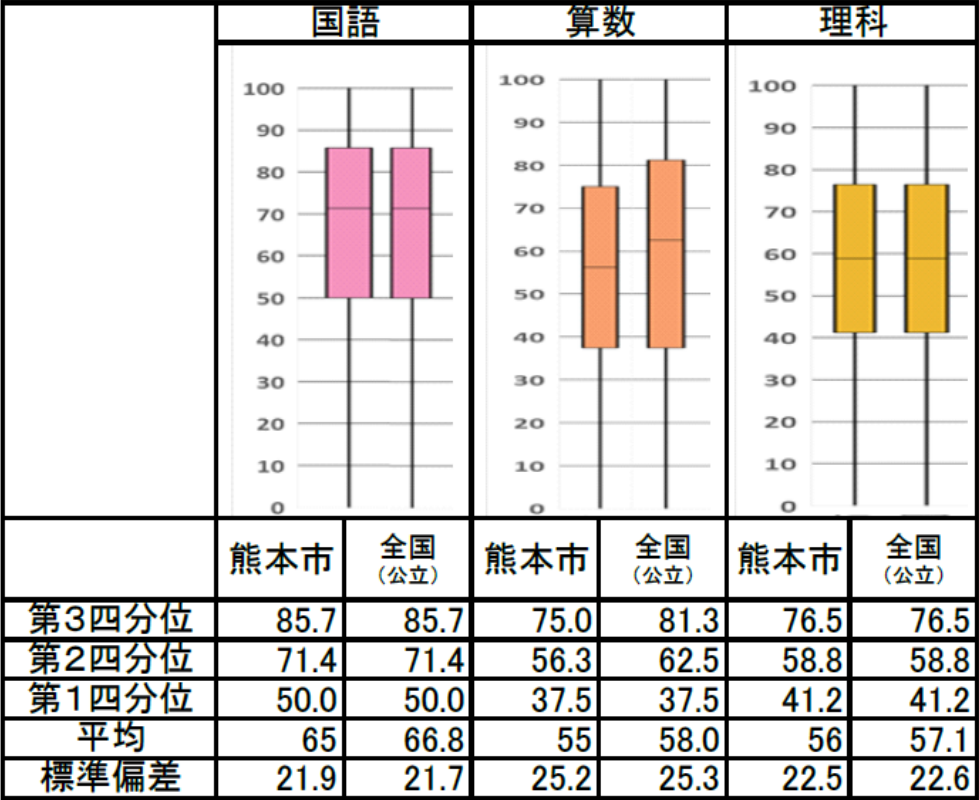
学 年		小学6年生			学 年		中学3年生			
教科		国語	算数	理科	教科		国語	数学	理科	英語
R5	本市	67%	61%	—	R5	本市	69%	49%	—	44%
	全国	67.2%	62.5%	—		全国	69.8%	51.0%	—	45.6%
R6	本市	67%	63%	—	R6	本市	58%	51%	—	—
	全国	67.7%	63.4%	—		全国	58.1%	52.5%	—	—
R7	本市	65%	55%	56%	R7	本市	54%	46%	506※	—
	全国	66.8%	58.0%	57.1%		全国	54.3%	48.3%	503※	—

※表中の数値は、平均正答率を示している。本市の値は整数値で公表されている。
※R7中学校理科の結果は、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより表示している。
IRTスコアとは、IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。
(R7年度の全国公立中学校の基準は503となっている)

(2) 正答率の分布、正答数の層分布

① 小学校

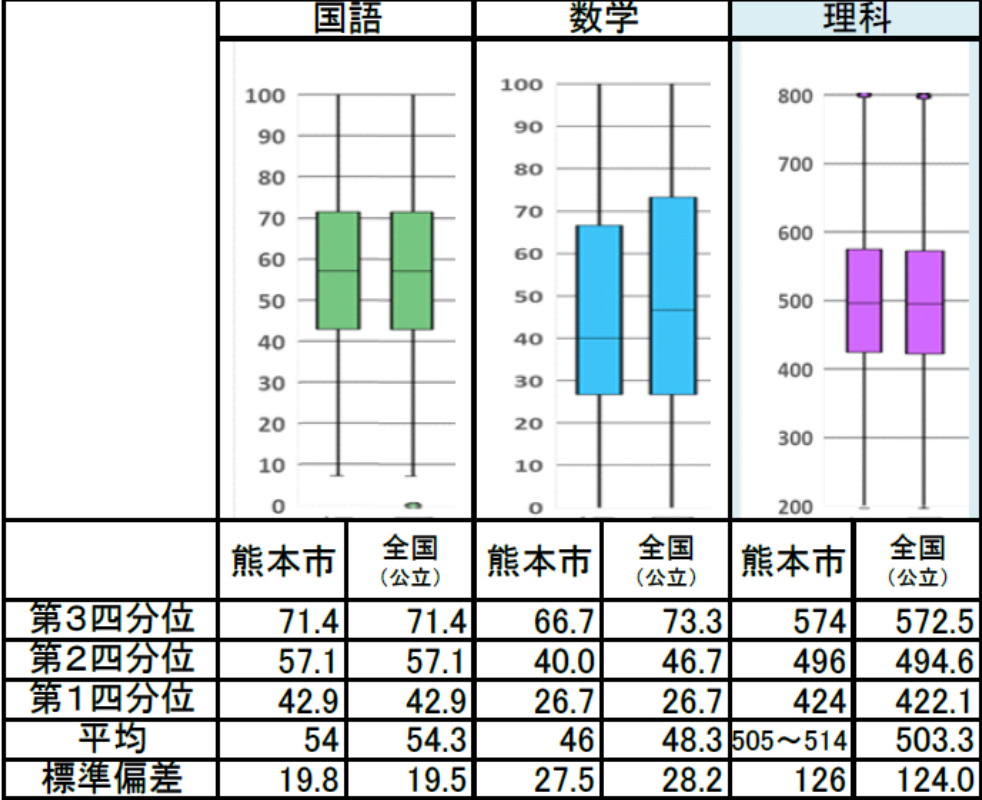
＜正答率の分布＞



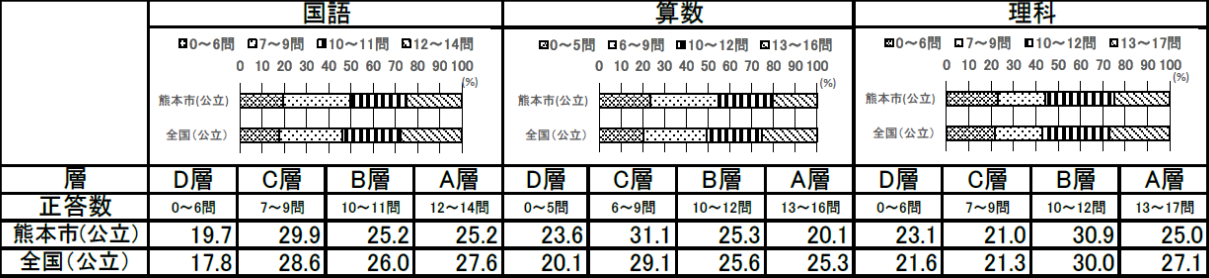
② 中学校

＜正答率・IRTスコアの分布＞

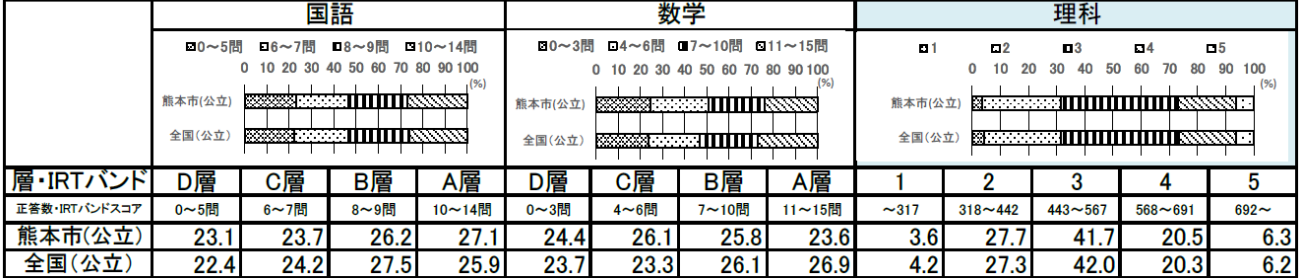
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。



＜正答数の層分布＞



＜正答数・IRTバンドの層分布＞



(3) 各教科の正答率が全国と比較して高い項目(○)と低い項目(●) ()内は全国との差

国語	小	○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する(+1.7ポイント) ●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける(-5.1ポイント) ●漢字を文の中で正しく使う(-5.1ポイント)
	中	○自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く(+2.8ポイント) ●表現の効果について、根拠を明確にして考える(-1.9ポイント)
算数	小	○必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する(±0ポイント) ●簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶ(-6.5ポイント) ●「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表す(-4.9ポイント) ●平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図する(-4.8ポイント)
数学	中	○多角形の外角の意味を理解している(+1.8ポイント) ●素数の意味を理解している(-9.5ポイント) ●目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する(-5.1ポイント) ●相対度数の意味を理解している(-4.3ポイント)
理科	小	○発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現する(+4.9ポイント) ●レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現する(-5.3ポイント) ●水の蒸発について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している(-2.9ポイント)
	中	○気圧に関する身近な事象を問うことで、気圧の知識が概念として身に付いている(+6.6ポイント) ●地域の言い伝えを科学的に探究する学習場面において、大地の変化と、地層の様子やその構成物に関する知識及び技能を関連付けて、地層の重なり方や広がり方を推定できる。(-5.3ポイント) ●科学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができる(-3.2ポイント) ●水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いている(-3.1ポイント)

(4) 質問調査

児童生徒質問調査の結果については、「ICT機器活用の頻度」等の質問において、全国を上回っています。
一方で、「主体的・対話的で深い学び」等の質問において、全国を下回っています。

①質問調査の肯定的回答率が高い項目(○) ※学習に関する項目で全国と3ポイント以上開きがあるもの (単位:%・ポイント)

質問項目	令和7年度					
	小学校			中学校		
	熊本市	全国	全国差	熊本市	全国	全国差
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。 ← 1 ほぼ毎日(1日に複数の授業で活用) + 2 ほぼ毎日(1日に1回くらいの授業)	71.7	46.7	25.0	76.4	53.2	23.2
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができると感じますか ← 1 とてもそう思う + 2 そう思う	69.4	69.3	0.1	68.5	63.3	5.2
5年生まで(1・2年生のとき)の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(3)楽しみながら学習を進めることができる ← 1 とてもそう思う + 2 そう思う	89.5	85.5	4.0	-	-	-
5年生まで(1・2年生のとき)の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(5)自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる ← 1 とてもそう思う + 2 そう思う	82.3	77.6	4.7	-	-	-
5年生まで(1・2年生のとき)の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(6)友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる ← 1 とてもそう思う + 2 そう思う	88.2	84.6	3.6	-	-	-
5年生まで(1・2年生まで)の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる ← 1 とてもそう思う + 2 そう思う	91.2	87.5	3.7	-	-	-

②質問調査の肯定的回答率が低い項目(●)

※学習に関する項目で全国と3ポイント以上開きがあるもの

(単位:%・ポイント)

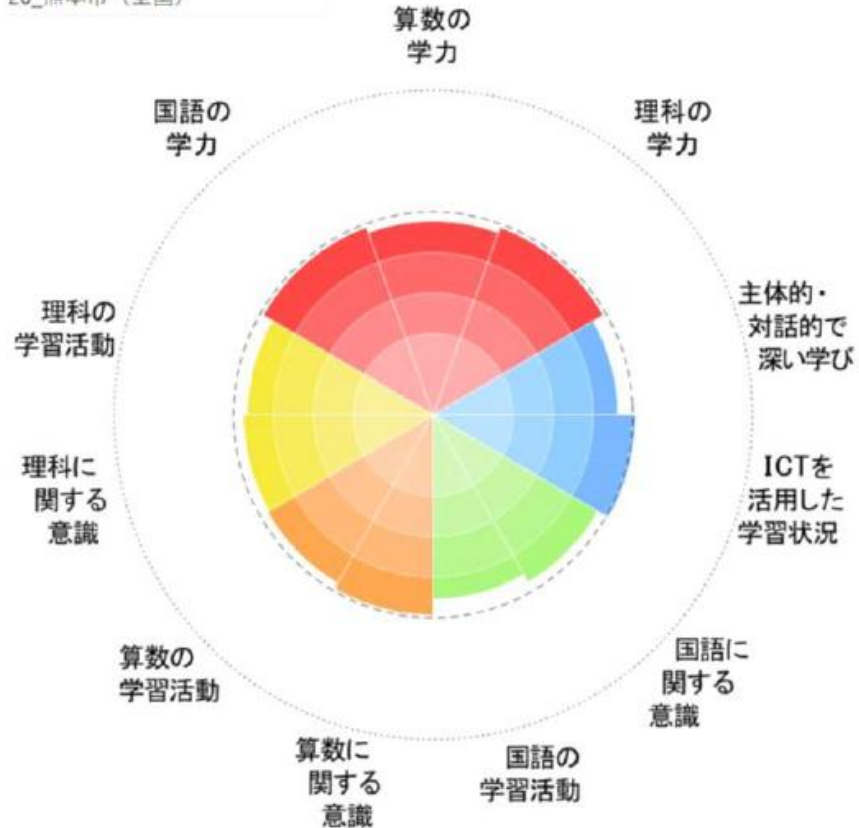
質問項目	令和7年度					
	小学校			中学校		
	熊本市	全国	全国差	熊本市	全国	全国差
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた授業では、自分の考えを発表する機会では自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか ← 1 発表していた + 2 どちらかといえば、発表していた	65.5	68.6	▲ 3.1	56.7	63.0	▲ 6.3
5年生まで(1・2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいましたか ← 1 当てはまる + 2 どちらかといえば、当てはまる	76.4	80.3	▲ 3.9	72.3	77.7	▲ 5.4
国語の授業の内容はよく分かりますか ← 1 当てはまる + 2 どちらかといえば、当てはまる	82.4	82.8	▲ 0.4	73.0	77.0	▲ 4.0
算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか ← 1 当てはまる + 2 どちらかといえば、当てはまる	77.1	78.3	▲ 1.2	64.4	70.3	▲ 5.9
理科の勉強は好きですか ← 1 当てはまる + 2 どちらかといえば、当てはまる	76.8	80.1	▲ 3.3	61.8	63.8	▲ 2.0
理科の授業の内容はよく分かりますか ← 1 当てはまる + 2 どちらかといえば、当てはまる	87.2	88.9	▲ 1.7	64.2	71.4	▲ 7.2

(5) 結果チャート ※点線は全国平均を示している。

小学校

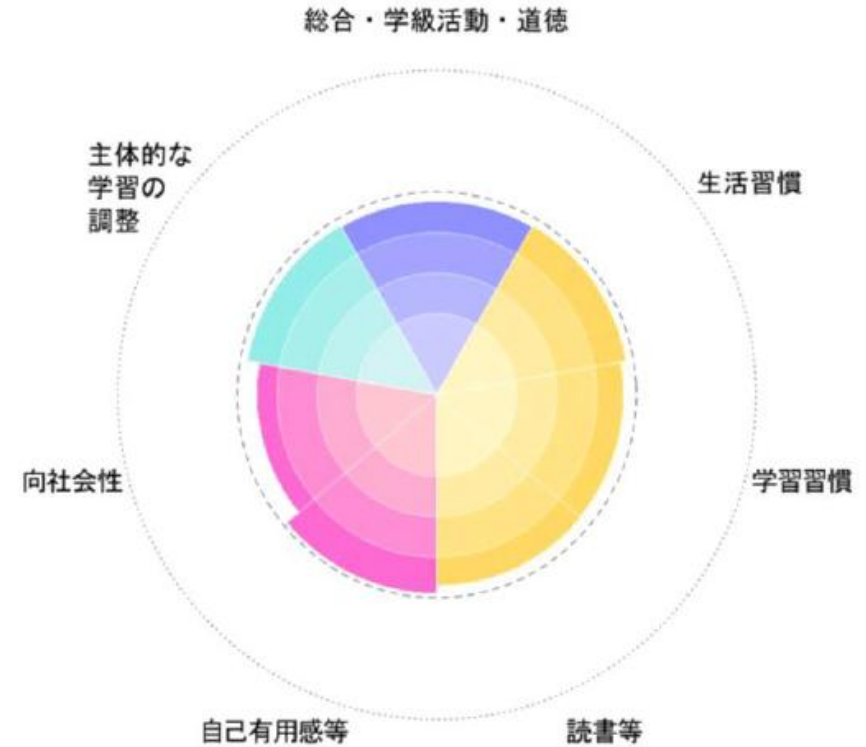
【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

20_熊本市 (全国)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)

20_熊本市 (全国)

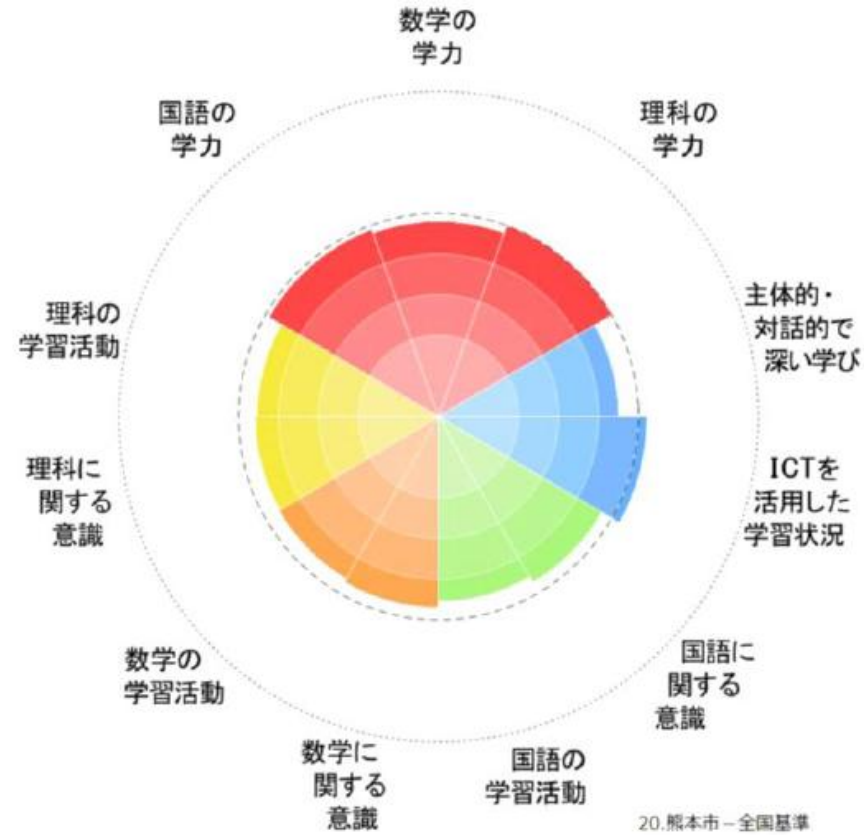


本市の特徴

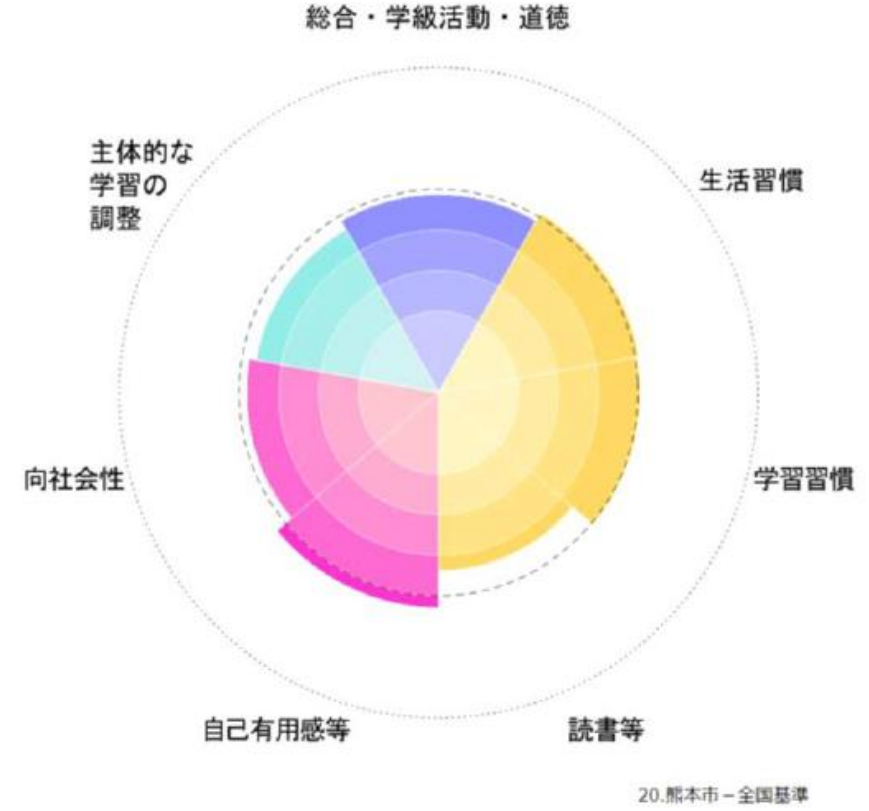
- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「自己有用感」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「向社会性」や「国語の学習活動」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

中学校

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



本市の特徴

- ・全教科、全国的なばらつきの傾向と大きな差は見られなかった。
- ・中学校においては、「自己有用感」や「ICTを活用した学習状況」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「読書等」や「主体的・対話的で深い学び」領域のスコアについて、低い結果が出ている。

4 今後の取組

- ・教育委員会で本市の課題の改善に向けて対策を考え、周知する。
- ・各校に対しても、各校の実態に合わせた課題の改善につながるよう、分析ツールを提供し、取組を支援する。